

第 8 回加賀地区会 活動報告：

日本医師事務作業補助研究会 石川県支部

平成 27 年 9 月 8 日、やわたメディカルセンターにて第 8 回加賀地区会を開催いたしました。当日は、加賀地区を中心に金沢地区や県外より 38 名の方にご参加いただきました。

開会の挨拶

はじめに、やわたメディカルセンター院長（日本医師事務作業補助研究会：石川県支部顧問）勝木保夫より、「医師事務作業補助者の歴史は浅いが、患者様や地域の方々のためにも必要な職種となってきている。今後の発展のためには、日々研鑽を積んでさらにスキルアップし、自ら行っていることをもっと発信していかなければならない。今回で第 8 回目となるが、加賀地区会がこの数字の 8（八）のように、裾野が広がる会となるように願っています。」と、期待され開会となりました。

グループワーク

テーマ：書類について学び合おう

石川県支部では教育をテーマに継続的に活動を続けてきました。昨年 11 月に開催された教育セミナー「かがやきセミナー」では多職種の方々からご講演いただき、知識や理解を深めることができました。また、今年 5 月に開催された石川地方会では、教育ワーキンググループである 6 病院間での On-JT（病院間での相互教育）活動報告がありました。見学後に各々の病院において新たな変化や行動がみられ、業務改善や目標設定などにつながっています。



そこで、今回の加賀地区会では、やはり実践力の向上につながる内容にしたいと考え、「書類について学び合おう」をテーマに行うことになりました。

まず、限られた時間内で効率的に進めるため、参加病院に事前アンケートを行い、書類作成時の疑問点や困っていることなどを確認し、その内容を演習問題に取り入れました。

当日は、8 グループに分かれてグループディスカッション形式で行いました。当院で準備した演習用カルテをもとに主治医意見書と入院証明書を作成し、項目順に内容についてグループで意見交換をしていきました。入院証明書作成上のポイント解説では、某保険会社の方から不明な点についての回答やアドバイスをいただいていたため、スムーズに皆さんにお話することができたと思います。

入院証明書の作成中は、会場が静かになり、皆さんが真剣に集中して取り組まれている様子が伺えました。その後のグループディスカッションでは、お互いに積極的に話し合い、学び合うことができました。また、可能な病院には主治医意見書の問診票をご持参いただき、会場内で閲覧できるようにしました。それぞれの病院独自の異なる様式であり、他院の問診票について「フローチャートの部分がわかりやすい」「自分の病院でも取り入れることができないか」などの声が聞かれました。

閉会の挨拶

やわたメディカルセンター医療サービス部部长 山岸靖彦より、「医師事務作業補助者は、先生にも病院内でも認知されてきており、仕事の業務内容も確立されてきている。今後、この加賀地区会での新たな繋がりから医師事務作業補助者だけでなく、医療事務や診療情報管理士など事務職のネットワーク作りができたと思います。」と述べられ、閉会となりました。

地区会をとおして

地区会終了後のアンケートでは、「今回の文書作成は実務者にとって大変関心のある内容であり、作成方法（どこに重点をおいて作成したらよいか）を知ることができ非常に役に立った。」「他院の方々と意見交換をして、情報を共有することができた。」など有り難い感想をいただきました。

今回の地区会をおえて、お互いに学んだことや新たに気づいたことなどをこれからの文書作成業務に生かしていただければと思います。

今後は、病院間での相互教育活動の輪を広げていくこと、そして、地方会や地区会、セミナーなどに参加して個々の知識とスキルを高め、更なるレベルアップをはかることを目的として、日本医師事務作業補助者の発展・発信のために皆さんとともに努めていきましょう。



第8回 加賀地区会幹事病院

やわたメディカルセンター医療秘書課

越田 恵